

施策	2102 景観形成の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民、事業者						
施策が目指す姿	歴史や伝統を活かした個性的な景観・街並みの形成等を図る。						
成果指標	: 修景工事を実施した建築物の総数...5年間で111戸（現状値107戸）（指標単位：戸） : 景観に関する大規模行為の年間届出件数...年間で20件（現状値32件）						
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 []	予定	105.00	108.00	109.00	110.00	111.00
		実績	107.00	109.00	110.00		
	成果指標2 [件]	予定	15.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		実績	32.00	30.00	54.00		
		単位コスト	1,601.16	1,885.03	1,021.74		
	成果指標3 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標4 []	予定					
実績							
単位コスト							
トータルコスト (千円)	予定	51,691	58,502	65,168			
	実績	51,237	56,551	55,174			
内 部 評 価	貢献度	上位施策の目標指標である「美しい景観形成に対する市民満足度」を向上させるためには、景観形成の充実は重要であり、本単位施策の目標達成による貢献度は高い。					
	達成状況	成果指標については、実績が予定を大きく上回っている。					
	課題	成果指標は達成しているが、景観形成の充実には、市民の理解と協力が不可欠なことから、啓発活動の在り方、手法について検討が必要である。					
	取組方針	達成度が高い事業については引き続き事業を推進するが、景観に関して市民の理解と協力が得られるよう、景観計画に基づき啓発活動を行い、事業の推進を図る。					
外 部 評 価	景観に関する大規模行為の年間届出件数の実績が予定を大きく上回ったことについては評価に値するが、要因は県の基準が緩和されたことによるのであれば、次期目標値の設定に配慮が必要である。 色彩ガイドラインの策定により、建物の建築や看板等の設置の際は、景観に合ったものをお願いすることになるため、市民の理解と協力が必要であるならば、更なる周知や啓発に取り組むべきと考える。						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	432201	街なみ環境修景事業費				8,529	100
	432301	都市景観形成事業費				8,595	100
	432501	屋外広告物指導事業費				7,795	100
	432701	伝建まちづくり事業				19,429	100
	434401	栃木駅周辺地区景観形成基金積立金				76	100
	432101	まちづくり資金融資預託金				10,750	10
	735201	蔵の街課一般経常事務費					0
	735301	蔵の街まちづくり事業費					0

平成27年度

単位 施策評価表 補表

施策	2102 景観形成の充実		
区分	妥当性	妥当	上位施策の目標を達成させるためには景観形成の充実は重要であり、本事業は有効である。
	コスト削減の余地	無	景観まちづくりを推進・継続するための費用が必要になる。
	受益者負担	適正	修景に対する助成制度があるが、適切な負担割合である。
	上位貢献度	有効	修景済みの建築物の戸数や景観計画に基づく届出件数が増加することにより、市民の景観に対する意識の向上が図られ、魅力ある景観まちづくりの推進につながる。
	類似事業の有無	無	代替可能な事業はない。
	成果向上の余地	有	実績が上回っていることから、今後もより一層の景観の充実が図られる。
内部評価	貢献度		
	達成状況		
	課題	成果指標については、予定に対する実績が上回っており達成しているが、更なる景観形成の充実には市民の理解と協力が必要不可欠であり、そのためにも景観に対する啓発を積極的に行うことが必要である。	
	取組方針	目標達成度が高い施策については引き続き事業を推進するが、そのためには景観に対する市民の理解と協力が欠かせないため、良好な景観形成を推進するためにも景観計画や景観条例等により啓発活動を行い、地域の特性に応じた魅力ある景観まちづくりを推進する。	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	080406	予算事業コード	432201	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策			単位施策																															
事業名	街なみ環境修景事業費										主	2102	暮らしやすい都市の創出			景観形成の充実																														
担当部課 係・担当チーム名	都市整備部 都市計画課 景観係					担当者	下司 克之					従																																		
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		栃木市歴史的町並み景観形成要綱							事業期間	H13 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	244,175		千円																												
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 歴史と伝統を活かした魅力あるまちづくりを推進するため、大通りや巴波川周辺を歴史的町並み景観形成地区(約48ha)に指定し、地区内の歴史的建造物、非歴史的建造物、工作物等の修景保全により、歴史的な町並み景観の形成を図る。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 栃木市の大通りを中心に集積している「蔵」をメインとした景観形成を行うことにより、市民が誇りと愛着を有する歴史的な町並み景観の形成を図る。																																		
	単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込		成果目標	: 修景工事を実施した建築物の総数...5年間で111戸(現状値107戸)(指標単位：戸) : 景観に関する大規模行為の年間届出件数...年間で20件(現状値32件)																																								
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	事業の内容 その成果	平成26年度					平成27年度																																			
	県支出金		0	0		【事業の内容】 ・歴史的町並み景観の形成を図るため、要綱に基づく歴史的建造物等の修景事業等を実施する。					【事業の内容】 ・歴史的町並み景観の形成を図るため、要綱に基づく歴史的建造物等の修景事業等を実施する。																																			
	地方債		0	0		【成果】 ・歴史的建造物の修景補助件数 1件 ・景観形成重要工作物の修景件数 1件 ・要綱に基づく届出件数 30件					【成果】 ・歴史的建造物に付帯する工作物の修景補助件数 1件 ・要綱に基づく届出件数 32件																																			
	その他特財		0	1,029																																										
	一般財源		3,117	0																																										
	事業費 a		3,117	1,029																																										
	人件費 b		7,500	7,500																																										
減価償却費 c		0	0																																											
総事業費 a+b+c		10,617	8,529	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>算出方法</th> <th>単位</th> <th>事業の事後評価</th> <th>妥当性</th> <th>コスト削減の余地</th> <th>受益者負担</th> <th>上位貢献度</th> <th>類似事業の有無</th> <th>成果向上の余地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結果指標 1</td> <td>修景補助件数</td> <td>修景補助をした建築物等の件数の合計 H27目標値 1件</td> <td>件</td> <td>妥当</td> <td>無</td> <td>適正</td> <td>有効</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>結果指標 2</td> <td>修景補助件数(累計)</td> <td>修景補助をした建築物等の累計 H27目標値 109件</td> <td>件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	結果指標 1	修景補助件数	修景補助をした建築物等の件数の合計 H27目標値 1件	件	妥当	無	適正	有効	無	有	結果指標 2	修景補助件数(累計)	修景補助をした建築物等の累計 H27目標値 109件	件						
指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地																																					
結果指標 1	修景補助件数	修景補助をした建築物等の件数の合計 H27目標値 1件	件	妥当	無	適正	有効	無	有																																					
結果指標 2	修景補助件数(累計)	修景補助をした建築物等の累計 H27目標値 109件	件																																											
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・歴史的町並み景観形成地区は、町並みの保存を目的とした嘉右衛門町伝建地区と重複しているため、現状把握を行い、保全と保存の違いを明確にし、制度に関し整合を図る。 ・歴史的町並みを形成するための基準である修景基準及び補助制度見直しのための検討を行う。																																													
事後評価備考																																														

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	080406	予算事業コード	432301	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	都市景観形成事業費										主	2102	暮らしやすい都市の創出		景観形成の充実	
担当部課 係・担当チーム名	都市整備部 都市計画課 景観係					担当者	佐藤 優		従							
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		景観法、栃木市景観条例		事業期間	H17 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	18,000		千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 良好な景観形成を図るため、平成26年10月に策定した栃木市景観計画等に基づき、各地域独自の景観行政を推進している。 【主要事業】							達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 景観計画等の策定を行い、市民・事業者・行政が一体となって各地域の特色ある景観を保全・誘導することで良好な景観形成を図る。							
								成果目標	: 修景工事を実施した建築物の総数...5年間で111戸(現状値107戸)(指標単位: 戸) : 景観に関する大規模行為の年間届出件数...年間で20件(現状値32件)							

単位: 千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容				事業の事後評価					
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成26年度			平成27年度					
	県支出金	0	0	【事業内容】			【事業内容】					
	地方債	0	0	・良好な景観形成を図るため、県景観条例に基づく大規模行為届出事務を実施する。			・良好な景観形成を図るため、景観法に基づく届出等の事務を実施する。					
	その他特財	0	541	・景観法に基づく景観計画を策定する。			・景観計画に定められた推進方策に取り組む。					
	一般財源	3,029	554	【成果】			【成果】					
	事業費 a	3,029	1,095	・大規模行為届出件数 30件			・届出等件数 54件					
	人件費 b	7,500	7,500	・景観計画の策定			・色彩ガイドラインの作成 200部					
減価償却費 c	0	0	・景観条例等の制定			・景観計画の更新 本編200部・概要版200部						
総事業費 a+b+c	10,529	8,595	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	1.00	1.00	景観計画に基づく関連計画の策定	景観計画色彩ガイドラインの策定	H27年目標値 策定	計画	妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2	30.00	54.00	大規模行為等届出件数	年間の大規模行為等届出件数	H27目標値 30件	件						

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)											
	<ul style="list-style-type: none"> 本市の特色を活かした景観の保全又は形成するために策定した栃木市景観計画に定められた推進方策を順次進める。 景観形成重点地区、景観重要建造物及び景観重要樹木の指定に向けた検討を行う。 市民の景観に対する意識や理解を高めるための啓発活動に取り組む。 											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--